

○近畿・中国・四国地方の地震活動

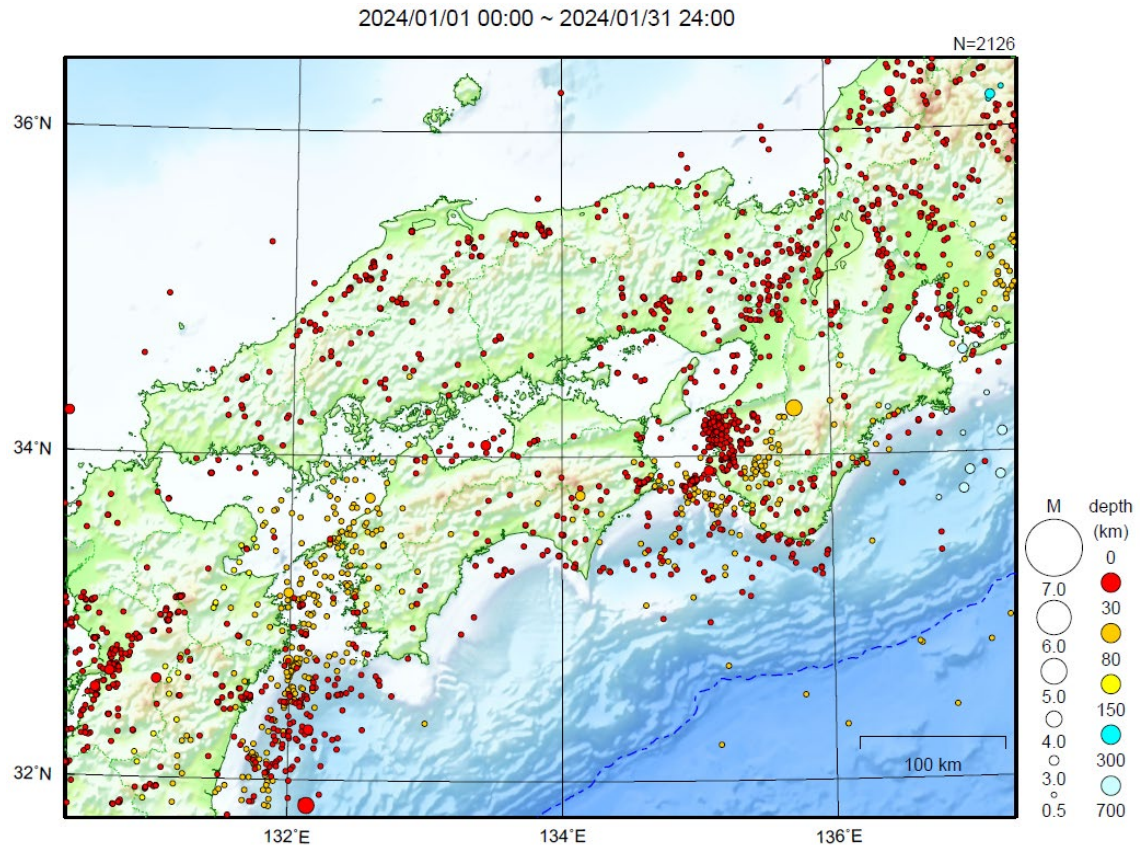


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2024年1月1日～1月31日、M $\geq$ 0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使

【概況】

1月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は26回（2023年12月は10回）であった。

1月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で震度4以上を観測及び津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

（図の範囲外）

1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。また、この地震により、石川県能登で長周期地震動階級4を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。この地震により、石川県の金沢（港湾局）で80cm、山形県の酒田※で0.8mの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した（p. 6～11、17、55～114 参照）。

近畿・中国・四国地方では、鳥取県の境港市境で60cmなど、京都府から山口県で津波を観測した。

※巨大津波計による観測である。（観測単位は0.1m）